

事業報告書

1 支援団体名	本明川を語る会
2 事業名称	第8回諫早大水害を語り継ぐ～7月25日を忘れない～
3 実施日時	平成28年7月16日（土） 13:00～15:20
4 実施場所	諫早市森山町 森山公民館
5 事業目的、内容及びその効果	（事業実施状況・内容） 諫早大水害を風化させないために、体験者手記朗読や体験者談などを通して、その災禍を語り継ぎ、安全・安心なまちづくりを目指す。 （1）諫早大水害を題材としたマンガ『ランドセル』上映 （2）体験者手記朗読 『樹に登って助かった諫早大水害記』朗読：中野美津子 『津波：八つの棺』朗読：田中文子～諫早コスモス音声訳の会 （3）体験者談：犬尾博治、前田瑞光 （4）森山町水害慰霊碑建立活動報告：山口公徳他 （5）子ども壁新聞コンクール表彰 （6）本明川の歌：『本明川に捧ぐ』（コールすみれ） 『せせらぎの詩』 『とっても大切なもの』（コールすみれ、諫早混声合唱団）
	（事業実施効果） （1）8回目の事業であったが、継続することの重要性が確認された。 （2）この事業を通して、水害の恐ろしさ・生命の尊さが再認識され、日ごろの防災対策の必要性など防災意識の高揚が図られた。 （3）森山地区自治会、老人クラブ、森山支所等の協力があり、住民多数が参加した。（250席以上）。 （4）森山地区に関係する体験者談や水害慰霊活動発表を行ったので、地元住民の関心が高かった。
6 参加内訳	総人数 280 名
	（1）主催者参加 30 名
	（2）日本人参加（（1）を除く） 250 名
	（3）外国人参加（（1）を除く） 0 名
7 今後の方針	（1）この事業の成果・課題などを検証し、内容を充実させる。 （2）行政との協働体制を維持する。長崎河川国道事務所と諫早市の全面的なバックアップを期待したい。 （3）若い世代の参加が課題である・ （3）助成金を活用して、必要経費を確保する。

水害遺構パネル展示



入賞壁新聞展示



会長挨拶



来場者



合唱団



マンガ上映

